

# 令和3年度 中央研修会募集要項



公益財団法人 地域社会振興財団

<http://www.zcssz.or.jp/>

# 目 次

■ 公益財団法人 地域社会振興財団の概要 .....	1
■ 中央研修会のご案内	
1 第39回 健康学習研修会 (We b).....	5
2 第20回 健康企画・評価研修会 (We b) .....	7
3 第41回 保健活動研修会 (We b).....	9
4 第1回 看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会.....	11
5 第18回 口腔ケア研修会 (オンデマンド) .....	13
6 第2回 災害保健研修会.....	15
7 第44回 スタッフ育成・管理担当者研修会 (We b).....	17
■ 申込要領等 .....	19
■ 現地研修会のご案内 .....	22

# 公益財団法人 地域社会振興財団の概要

## 設立の趣旨

地域社会振興財団は、へき地などの地域社会がかかえる保健・医療・福祉等の諸問題について、基礎的・総合的な研究を行い、そこで生活する人々が生きがいをもって健やかに暮らすことができる地域社会づくりに貢献し、地方自治の基盤の充実に寄与することを目的として、昭和47年(1972年)12月に「財団法人へき地振興財団」の名称で設立された法人です。

以来、経済社会の動向を見つめながら、そのニーズに沿った事業を推進して参りましたが、それぞれの地域において一人ひとりがこころ豊かで、自立と連帯の精神に立脚して形成される魅力ある地域社会が築かれるよう、高齢化対策に積極的に取り組んでいる地方公共団体を支援するため、長寿社会づくりソフト事業費交付金交付事業を創設し、これを機に、名称を平成元年(1989年)4月に「財団法人地域社会振興財団」と改め、その後公益法人制度改革に伴う公益法人への移行認定を受けて、平成25年(2013年)4月から「公益財団法人地域社会振興財団」として新たにスタートしました。

また、令和4年(2022年)12月には、設立から50年の節目を迎えることから、今後も、より一層、設立時の趣旨を踏まえつつ、地域社会における保健・医療・福祉の分野での、さまざまなニーズに応えるべく事業の充実に向けて邁進していきます。

## 事業概要

### ◆調査研究事業（公益目的事業1）

へき地など地域住民の疾病の特異性、病態生理とその原因等を明らかにし、それに対する有効な対策等を行うため「地域社会健康科学研究所」を設置し、環境医学研究部門、血液医学研究部門、保健科学研究部門、健康福祉計画研究部門、病態生理研究部門、情報システム研究部門の6研究部門及び実験医学センター並びにさいたま支所を置き、基礎的・総合的な調査研究を行うほか、同地域における高齢化、少子化の進行に対応した保健・医療・福祉に係る諸施設を支援するための事業です。

また、当研究所の調査・研究事業に必要な研究機器は、「難病及び希少難病に関する研究等」として、公益財団法人JKAからの補助金（競輪公益資金）により整備され、使用されています。

なお、整備された研究機器について、当研究所内において有効的に活用され、それらの研究成果については、毎年度「地域社会健康科学研究所報告集」として冊子化し、各都道府県に配付しています。

### ◆研修事業（公益目的事業2）

当財団では、自治医科大学と密接な連携のもとに各種研修会（中央研修会と現地研修会）を合わせて年間30回程度開催しています。

また、地域住民を対象とした保健・医療・福祉等に関する意識向上のための研修や、地域医療が抱える様々な問題とその解決策を医療従事者等と地域住民とともに考え討議するフォーラムやシンポジウムを開催しています。

## ◇中央研修会

当研修会は、地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々が、最新の医学知識と医療技術を習得することにより、地域住民が安心して生活することができることを目的に開催しています。

講師には、自治医科大学の教職員及びそれぞれの分野において活躍されている方々を招き、最新の医療情報の講義や技術の向上を図るための演習等を実施しています。

## ◇現地研修会

当研修会は、地方公共団体等が推進する健やかな長寿社会づくりに寄与することを目的に、地域住民の方々と地域社会において、保健・医療・福祉事業に携わる方々を対象として、保健・医療・福祉事業に関するテーマで、当該団体と当財団が共催の形を取り全国各地で開催しています。

## ◇健康福祉プランナー養成塾

地域住民の社会福祉・介護サービスを構想し、運営するコミュニティ・リーダーの育成を目的に、健康福祉行政等の企画立案に携わる地方公共団体等の保健師、医師、事務職員等を対象に、保健・医療・福祉に関する専門知識の理解と、優れた企画立案能力を習得するため、職種横断的な研修会を年2回（夏季コース・アドバンスコース）開催しています。

## ◇地域医療を考える県民フォーラム

深刻化する医師不足等の地域医療に関する現状及び課題について、行政、医療関係機関、住民等が認識を共有し、自らの地域のあり得べき地域医療について主体的かつ建設的に考えるフォーラムを開催することによって、開催県における地域医療の充実確保に寄与するとともに、地域が一体となって自らの地域医療について考える全国的なモデル事業としての役割を果たすことを趣旨・目的としています。

## ◇地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム

このシンポジウムは、地域医療の課題を解決するには地域住民の理解や協力などの「住民の力」や、住民の主体的活動が重要であることを共通の認識とすること、住民と地方自治体行政との相互理解・協働が不可欠であることの認識を共有し、また、そのような住民の団体（住民グループ・NPO法人等）が全国的な連携をとれるようなネットワークづくりを目的として開催しています。

## ◆交付金交付事業（公益目的事業3）

栃木県から発行される「地域医療等振興自治宝くじ」通称「レインボーくじ」の収益金を財源として次の事業を行っています。

### ◇長寿社会づくりソフト事業費交付金交付事業

長寿社会づくりのためのソフト事業に積極的に取り組んでいる都道府県や市区町村を支援するため、一般事業及び特定事業の2種類の交付金を交付しています。

### ◇整備拡充事業費交付金交付事業

へき地等の地域医療の先駆的な役割を担っている自治医科大学の教育・研究に欠くことのできない施設設備や研究機器などの整備拡充を支援するため、交付金を交付しています。



# 中央研修会のご案内

当財団の研修事業のひとつである中央研修会は、地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々が、最新の医学知識と医療技術を習得することにより、地域住民の方々が安心して生活することができるような地域社会となることを願い、自治医科大学のご協力をいただき、昭和50年から実施しています。

今回は、令和3年度に開催します研修についてご案内いたしますので、是非ご参加くださいますよう、よろしくお願いたします。

## 令和3年度中央研修会一覧

	研 修 会 名	研修期間及び視聴期間	開催形式	
1	第39回 健康学習研修会	7月 1日 (木)	Web	健康教育から健康
2	第20回 健康企画・評価研修会	7月22日 (木)	Web	住民が元気になる
3	第41回 保健活動研修会	8月 7日(土)～ 8月 8日(日)	Web	近年、保健活動に進につながっている、改善点や次のすることは重要でイルに準拠して、本研修会では、保する基礎を学び、の立案のヒントをでの一連の過程に
4	第 1回 看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会 ※3	9月 3日(金)～ 9月 4日(土)	集合	最善な特定行為の
5	第18回 口腔ケア研修会	9月17日(金)～9月30日(木)	オンデマンド	病棟や施設におけ
6	第 2回 災害保健研修会 ※5	10月30日(土)～10月31日(日)	集合	地域保健活動にお
7	第44回 スタッフ育成・管理担当者研修会	11月 6日 (土)	Web	スタッフ育成のた

※1 大学院生等 ※2 介護福祉士・社会福祉士等 ※3 6月末時点でWeb研修に変更する場合があります。 ※4 看護師特定行

	第40回 診療放射線技師研修会	中止	放射線検査技術と
	第40回 薬剤師研修会	中止	病院薬剤師のチー ～病院薬剤師の実
	第47回 臨床検査技師研修会	中止	各診療科に関わる 識を習得する。
	第 7回 栄養管理研修会	中止	超高齢化を支える
	第23回 リハビリテーション研修会	中止	脳血管疾患、外傷 急性期リハビリテ

カリキュラム等詳細はホームページに掲載しておりますのでご覧ください。  
<http://www.zcssz.or.jp/>

テーマ	定員	対象職種例												
		医師	歯科医師	看護師	保健師	栄養士	管理栄養士	薬剤師	臨床検査技師	診療放射線技師	PT・OT・ST	歯科衛生士	事務職員	その他
学習へ	20	○		○	○									
健康事業企画と評価	20	○		○	○							○		
関する「情報発信」が様々な形で住民の健康増進。保健活動の介入効果を科学的に検証（評価）課題などについて適切にアウトプット（公表）ある。アウトプットには「研究発表」というスタ活動内容をわかりやすく発信する必要がある。健活動に活かすための疫学・統計・倫理に関過去の調査研究を概観して具体的な研究計画得る。さらに、学会発表・論文執筆にいたるまについて学習する。	100	○	○	○	○								○ ※1	
看護実践のための基礎知識と看護実践の向上	30		○ ※4											
る口腔ケアの質を上げる！	-	○	○	○	○					○	○		○ ※2	
ける災害対応力を高めよう！	20		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ ※2	
めのティーチングとコーチング	40		○	○	○	○	○	○	○	○	○			

為研修の修了看護師 ※5 7月末時点で中止にする場合があります

読影の補助	-							○					
ム医療への貢献 際の活動や関わり～	-					○							
輸血療法や細胞療法について理解を深め、知	-						○						
栄養管理を学ぶ	-		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
、循環器障害、呼吸器障害、摂食嚥下障害の ーションのポイントを学ぶこと。	-	○	○	○					○			○ ※2	

# 第 39 回 健康学習研修会

行動変容、意識変容の基本となるコミュニケーション技法の習得

## ◆ Web 研修

開催日

7月1日（木）13時～16時20分

テーマ

健康教育から健康学習へ

ねらい

保健医療従事者がコミュニケーション力をつけることが、住民の継続的行動変容につながります。「伝える」コミュニケーション法から「伝わる」コミュニケーション法に変えると住民は主体的に学びたくなる。そのコミュニケーションの基本をしっかりと身につけられる研修会です。

対象者

保健師、栄養士、医師

定員

20名

申込期限

6月17日（木）まで

申込方法

巻末の頁をご覧ください。

※詳細については、当財団ホームページをご覧ください。又は当財団事務局までお問い合わせください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
7/1	住民が元気になるコミュニケーション技法 ～伝え上手、尋ね上手、返し上手～	日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一
	集団がやる気になるために ～ムードづくり及びシナリオ作成法～	
	総合的視点から見た心身の健康指導 住民の力を伸ばす ～魔法の言葉かけ～	



# 第20回 健康企画・評価研修会

住民の心身トータルの健康を目指した事業の企画法

## ◆ Web研修

開催日

7月22日（木）13時～16時20分

テーマ

住民が元気になる健康事業企画と評価

ねらい

健康生活には病気の軽減（治療と予防）と元気の増進（well-being生活）が求められます。住民が参加したくなる健康事業の企画法と評価法の基本を今回つかみ、健康寿命を延ばす事業の組み立て方の具体的方法を習得していただきます。

対象者

保健師、栄養士、医師、健康関連事務担当者

定員

20名

申込期限

7月8日（木）まで

申込方法

巻末の頁をご覧ください。

※詳細については、当財団ホームページをご覧ください。又は当財団事務局までお問合せください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
7/22	健康事業企画の基本的考え方 ～まちづくりを目指した保健事業の企画法～	日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一
	参加したくなる心の元気教室の企画法 ～参加型、楽しい、元気になる、 そして結果に繋がる教室運営法～	
	今日から実践したくなる健康評価法 アップしよう！自分の評価力	

# 第41回 保健活動研修会

保健活動に活かす疫学・統計セミナー（疫学統計の基礎・学会発表・論文執筆まで）

## ◆ Web 研修

### 開催期間

8月7日（土）9時45分～8月8日（日）16時

### テーマ

近年、保健活動に関する「情報発信」が様々な形で住民の健康増進につながっている。保健活動の介入効果を科学的に検証（評価）し、改善点や次の課題などについて適切にアウトプット（公表）することは重要である。アウトプットには「研究発表」というスタイルに準拠して、活動内容をわかりやすく発信する必要がある。本研修会では、保健活動に活かすための疫学・統計・倫理に関する基礎を学び、過去の調査研究を概観して具体的な研究計画の立案のヒントを得る。さらに、学会発表・論文執筆にいたるまでの一連の過程について学習する。

### ねらい

日常の保健活動を発展させていくためには、現状を常に評価し、新たな目標設定と計画の策定が必要である。そのためには、保健活動の現場における調査・研究の手腕を身につけ、実際に研究を行い、最終段階として学会発表や論文執筆により世の中からの評価を受けなければならない。

本研修会では、まず研究の基礎となる疫学・統計学・倫理の基礎を学び、過去の調査研究を概観して具体的な研究計画の立案のヒントを得る。さらに、学会発表や論文執筆、雑誌の編集委員会との対応などについても議論する。

### 対象者

- (1) 地域保健・職域保健・学校保健の現場で保健活動を実践する保健師・看護師・栄養士・医師など
- (2) 今後、保健活動において調査研究を行う予定がある者

### 定員

100名

### 申込期限

7月21日（水）まで

### 申込方法

巻末の頁をご覧ください。

※詳細については、当財団ホームページをご覧ください。又は当財団事務局までお問合せください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
8/7	疫学の基礎 (70分) 具体的な研究の例とともに疫学の基礎を概観する	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門教授 中村 好一
	健康政策に影響を与えてきた疫学の歩み (特別講義70分) 疫学データの活用例・応用例を振り返る	自治医科大学名誉教授 柳川 洋
	保健活動に関わる調査・研究の実際 その1 (60分) 社会調査の実際を中心に	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門准教授 青山 泰子
	保健活動に関わる調査・研究の実際 その2 (30分) 調査研究を実施するための支援体制	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門教授 牧野 伸子
	保健統計の基礎 (70分) 保健活動のためのデータのまとめ方 (基礎)	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門助教 小佐見 光樹
	振り返り Q&A (中間) ※Web自由討論形式 (30分) 質疑・応答 および 自由討論会	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 中村 好一 牧野 伸子 青山 泰子 阿江 竜介 小佐見 光樹 松原 優里
8/8	研究と倫理 (60分) 最近の話題を交えて研究と倫理について概観する	山梨大学教授 山縣 然太郎
	研究デザイン・バイアスと交絡 (60分) 研究デザインおよびバイアスや交絡について学ぶ	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門助教 松原 優里
	研究発表・プレゼンの秘訣 (60分) 伝わりやすい研究発表(プレゼン)のヒント	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門講師 阿江 竜介
	学会発表と論文作成 (70分) 学会発表・論文誌筆のコツ (基礎)	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門教授 中村 好一
	振り返り Q&A (中間) ※Web自由討論形式 (30分) 質疑・応答 および 自由討論会	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 中村 好一 牧野 伸子 青山 泰子 阿江 竜介 小佐見 光樹 松原 優里

# 第1回 看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会

特定行為の実践に必要な臨床推論を復習し、看護実践力を高めよう!

## ◆ 集合研修

但し、6月末時点でWeb研修に変更する場合があります。

### 開催期間

9月3日(金) 9時45分～9月4日(土) 11時30分

### テーマ

最善な特定行為の看護実践のための基礎知識と看護実践の向上

### ねらい

2015年度から開始した看護師の特定行為に係る研修制度の研修修了看護師は2,000人程度(2020年2月)、研修を展開している指定研修機関は、200施設以上(2020年9月)となった。各指定研修機関では「チーム医療」、「医療安全」、「高度な臨床実践能力」、「自己研鑽」などを踏まえ、それぞれに目的・目標を設定し研修を行っているが、研修修了時の到達度が統一されていないという指摘がある。さらには、研修修了後の知識や看護技術を更新していく機会には個人差があり、修了後のフォローアップやスキルアップにおける課題が多く報告されている。そこで、最善な特定行為の看護実践のために必要な基礎知識として臨床推論や症候学を復習し、「good practice」を共有することで看護実践力の向上を目指す機会としたい。

### 対象者

看護師特定行為研修の修了看護師

### 定員

30名

### 【特記事項】

下記①②の内容について、8月3日(火)までにメール添付にて [chuokenshu@zcssz.or.jp](mailto:chuokenshu@zcssz.or.jp) までご提出をお願いします。様式は自由です。  
なお、提出いただいた用紙は、Web研修に変更なった場合でも、返却いたしません。責任をもって処分いたしますので、ご了承ください。よろしく。  
① 修了した研修区分名やパッケージ名  
② 輸液調整の実践でうまくいった又は難しかった事例のいずれか1つの症例紹介と実践内容  
\*症例、実践内容の提示では、振り返りに必要な情報を工夫して記載ください。

### 受講料

18,000円(税込) 受付の際に「現金」でのお支払いとなります。  
領収書は、『勤務先名』で発行いたします。

### 申込期限

8月3日(火)まで  
※ただし、期限前でも定員に達した場合は締め切ります。

### 申込方法

巻末の頁をご覧ください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
9/3	臨床推論の復習	自治医科大学医学部情報センター教授 石川 鎮清
	輸液栄養療法の適正使用に関する情報交流	株式会社大塚製薬工場信頼保証本部輸液情報センター 製品情報管理室係長 名護 由華 中野 将春
	輸液調整に関する症例検討についての オリエンテーション	自治医科大学看護学部成人看護学教授 看護師特定行為研修センター 村上 礼子
	輸液調整に関する症例検討	自治医科大学医学部情報センター教授 石川 鎮清  自治医科大学看護学部成人看護学教授 看護師特定行為研修センター 村上 礼子  自治医科大学看護学部総合科目担当講師 看護師特定行為研修センター 鈴木 美津枝
9/4	オリエンテーション	自治医科大学看護学部成人看護学教授 看護師特定行為研修センター 村上 礼子
	糖尿病患者の輸液調整	自治医科大学看護学部看護基礎科学准教授 倉科 智行
	特定行為に係る看護師研修制度に関する 情報提供	自治医科大学看護学部成人看護学教授 看護師特定行為研修センター 村上 礼子

# 第18回 口腔ケア研修会

医療の質を向上させる口腔の管理を学ぶ

## ◆ オンデマンド研修

### 開催期間

9月17日（金）9時～9月30日（木）17時まで  
（期間内、何度でも視聴可能です）

### テーマ

病棟や施設における口腔ケアの質を上げる！

### ねらい

組織において口腔ケアを指導できる人材を育成する。

- ・口腔の状態を正しく評価できる。
- ・日常の口腔ケアを見直し、正しい知識や技法を身につける。
- ・経口摂取に向けてのアプローチを身につける。
- ・臨床に直結する具体的な口腔ケアプランの立案ができる。
- ・多職種での連携、質の高い口腔ケアが継続可能な組織作りができる。

### 対象者

看護師、歯科衛生士、言語聴覚士、歯科医師、医師、介護士、作業療法士、栄養士等日常業務において口腔ケアに携わっている（これから携わる）医療従事者

### 申込期限

9月3日（金）まで

### 申込方法

巻末の頁をご覧ください。

※詳細については、当財団ホームページをご覧ください。又は当財団事務局までお問合せください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

講義テーマ	講師
口腔ケア総論 口腔ケアの歴史と基礎知識	鎌ヶ谷総合病院歯科口腔外科部長 口腔ケアセンター長 星 健太郎
口腔清掃法 I 医療者が行う正しい口腔清掃法	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 主任歯科衛生士 鈴木 祐子
口腔清掃法 II 口腔ケア用品と状態に応じた口腔清掃のテクニック	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 専任歯科衛生士 若林 宣江
口腔機能低下症 口腔機能低下症の診断とリハビリテーション	鎌ヶ谷総合病院歯科口腔外科部長 口腔ケアセンター長 星 健太郎
摂食嚥下障害 摂食嚥下障害の診断 食形態の選択とリハビリテーション	東京女子医科大学病院 リハビリテーション科准講師 山川 道代
小児の摂食嚥下障害 小児嚥下障害の診断とリハビリテーション	那須赤十字病院歯科口腔外科部長 伊藤 弘人
栄養障害 口腔ケアと関連する栄養管理学	ちゅうざん病院副院長 金城大学客員教授 吉田 貞夫
口腔の基礎知識 ケアに必要な口腔の解剖と機能、おさえておくべき 口腔の疾患と対処法	自治医科大学名誉教授 草間 幹夫
様々な疾患における口腔ケア がん患者に対するアプローチ	自治医科大学附属さいたま医療センター 歯科口腔外科教授 小佐野仁志
様々な疾患における口腔ケア 脳血管疾患患者に対するアプローチ	鎌ヶ谷総合病院歯科口腔外科 口腔ケアセンター副主任歯科衛生士 杉田 美和
様々な疾患における口腔ケア 神経筋疾患患者に対するアプローチ	鎌ヶ谷総合病院歯科口腔外科 口腔ケアセンター医長 小山 潤
様々な疾患における口腔ケア 重症心身障害患者に対するアプローチ	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 客員研究員 内藤 浩美
訪問診療での口腔ケア 在宅や施設における口腔ケアのポイントと多職種連携	鎌ヶ谷総合病院歯科口腔外科 口腔ケアセンター歯科衛生士 山口 智恵
周術期口腔ケア 周術期口腔ケアの効果と実際	自治医科大学附属病院歯科口腔外科助教 岡田 成生



## 第2回 災害保健研修会

災害時に保健医療従事者に求められる被災者への対応と災害に備えた平常時の活動

### ◆ 集合研修

但し、7月末時点で中止にする場合があります。

#### 開催期間

10月30日（土）13時～10月31日（日）16時30分

#### テーマ

地域保健活動における災害対応力を高めよう！

#### ねらい

近年、地震や風水害などの大規模な自然災害が全国各地で発生している。災害時に、保健従事者は住民への支援活動とともに、多方面からの多種多様な情報を判断して対応することが求められる。また、災害に備えて日頃から地域住民の防災力を高める活動とともに、保健従事者の対応力を高めるための研修等の教育的活動も重要である。講義と演習を通して、災害時に保健従事者に求められる被災者への対応方法及び平常時から行うべき活動を理解する。

#### 対象者

看護師、保健師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、事務職員等

#### 定員

20名

#### 受講料

18,000円（税込） 受付の際に「現金」でのお支払いとなります。領収書は、『勤務先名』で発行いたします。

#### 申込期限

9月30日（木）まで  
※ただし、期限前でも定員に達した場合は締め切ります。

#### 申込方法

巻末の頁をご覧ください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
10/30	災害時に求められる保健活動	自治医科大学看護学部長/教授 春山 早苗
	災害時の避難所運営を体験しよう	自治医科大学看護学部准教授 島田 裕子
		自治医科大学看護学部教授 上野 まり
自治医科大学看護学部准教授 川上 勝		
自治医科大学看護学部助教 小此木百合香		
自治医科大学看護学部教授 浜端 賢次		
災害時の保健活動の実際 初動期を中心に	自治医科大学看護学部長/教授 春山 早苗	
10/31	WHO版 心理的応急措置 (サイコロジカル・ファーストエイド：PFA)	東京大学大学院医学系研究科 准教授 宮本 有紀
		東北工業大学ウェルネスセンター カウンセラー 猿渡 英代子
	災害発生に備えた平常時の取り組み	国立保健医療科学院健康危機管理研究部 上席主任研究官 奥田 博子
研修の振り返り	自治医科大学看護学部教授 浜端 賢次	
	自治医科大学看護学部長/教授 春山 早苗	

# 第44回 スタッフ育成・管理担当者研修会

スタッフ育成のためのティーチングとコーチングの実際を学ぼう

## ◆ Web 研修

開催日

11月6日(土) 9時45分～16時45分

テーマ

スタッフ育成のためのティーチングとコーチング

ねらい

1. 看護・介護をはじめとする保健医療・福祉分野の管理者もしくは教育担当者として、ティーチングとコーチングの実際を学び、自立したスタッフ育成に向けて柔軟で効果的な関わりができる知識と能力を身につける。
2. 自立したスタッフによる多職種協働のチームワークを理解し、支援する知識と能力を身につける。

対象者

看護・介護をはじめとする保健医療・福祉分野の職場において、スタッフ育成を担う管理者及び担当者

定員

40名

【特記事項】

本研修会は、諏訪茂樹著『看護に活かすリーダーシップ 第3版』（医学書院）を使用しながら講義を進めますので、ご用意をお願いします。

申込期限

10月22日(金)まで

申込方法

巻末の頁をご覧ください。

※詳細については、当財団ホームページをご覧ください。又は当財団事務局までお問合せください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
11/6	スタッフを育てるリーダーシップ ～キャリアパスに即したティーチングと コーチングの使い分け～	東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹
	ビギナーへのティーチング ～効果的な指示と助言の方法～ ※ロールプレイ	
	ベテランへのコーチング ～やる気と質の高い医療・福祉サービスを支援 する方法～	
	チームワークとリーダーシップ ～安全で質の高い医療・福祉サービスを実現する ための多職種協働の方法～ ※ロールプレイ	

# 申込要領等

## 申込方法

公益財団法人 地域社会振興財団ホームページのインフォメーションから「令和3年度中央研修会の開催及びお申し込みについて」を開き、ご希望する研修会の申込書にご入力の上、メール添付にて [chuokenshu@zcssz.or.jp](mailto:chuokenshu@zcssz.or.jp) まで送信してください。

## Web 研修会及びオンデマンド研修会の受講を申込まれた場合

受講URL及びID・パスワードをご登録のEメールアドレスにお送りします。

※メール受信拒否設定をされている方は [zcssz.or.jp](http://zcssz.or.jp) からのメールを受信できるように設定しておいてください。

### ◆ Web 研修会

- 1 Zoom（パソコンやスマートフォン等）を使用したWeb研修になります。
- 2 予定の時間にパソコン等からつながるだけで、ご来場せずに研修にご参加いただけます。

### <事前にご準備いただくもの>

- 1 受講端末にZoomのアプリのインストールが必要です。
- 2 Zoomに必要な設備のご準備をお願いします。
  - (1) 受講端末（パソコン・スマートフォン・タブレット等）
  - (2) Webカメラ ※受講端末にカメラがない場合
  - (3) ヘッドセット（マイク・スピーカー） ※受講端末に機能がない場合
  - (4) インターネットは有線接続を推奨しています。

※ 不測の事態にて、画像や音声の乱れ等の可能性がありますことをご了承ください。

### ◆ オンデマンド研修会

- 1 パソコンやスマートフォン等を使用したオンライン研修になります。
- 2 当該研修会の期間内、何度でも視聴可能です。

## 集合研修会の受講を申込まれた場合

### ◆ 受講の決定及び通知

- 1 受講の決定は、申込期間内申込書先着順に行います。  
申込期限前でも定員に達しましたら締め切ります。その際は、ホームページに掲載いたします。
- 2 受講決定通知は、申込み締切日後または定員に達した時点で  
「受講決定通知書」等を送付します。

### ◆ 集合研修の研修会場

地域医療情報研修センター（自治医科大学構内施設）  
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-160

### ◆ 交通アクセス

お越しになる際の交通手段は、なるべく公共の交通機関をご利用ください。  
会場への最寄り駅は、JR 宇都宮線（東北本線）の「自治医大駅」です。  
東口から徒歩約10分です。詳しくは「会場への交通のご案内」（裏表紙）をご参照ください。

### ◆ 宿泊

宿泊は、各自ご手配願います。  
周辺の宿泊施設としては、宇都宮市内及び小山市内に多数あります。  
なお、次頁の2施設は、優待料金でご利用できます。

## お問い合わせ

公益財団法人 地域社会振興財団 事務局研修課

☎ 0285-58-7436

受付時間：月曜日～金曜日(祝日を除く) 8時30分～17時15分

### ❗ 個人情報の取り扱いについて

中央研修会受講申込書にご記入いただいた個人情報は、研修会関係者に受講者名簿として必要な情報のみを掲載し配付させていただきます。  
また、個人識別ができない内容による統計資料を、今後の研修会の参考とするため作成させていただきますことをご了承ください。

施設名	ホテルニューイタヤ	ホテルエクセルイン小山
アクセス	J R宇都宮駅西口から徒歩約10分	J R小山駅東口から徒歩約5分
室タイプ	シングル	シングル
優待料金	7,000円(税込) 朝食付き(バイキング)	6,300円(税込) 朝食付き(バイキング)
設備 アメニティ	テレビ・冷蔵庫・湯沸しポット・ドライヤー・歯磨きセット・石鹸・シャンプー・タオル・バスタオル・浴衣・スリッパ	
電話 FAX	電話 028-635-5511 FAX 028-633-3772	電話 0285-30-5555 FAX 0285-30-6700
お支払い	現金・クレジットカード可	現金・クレジットカード可
ホームページ	<a href="http://www.newitaya.com/">http://www.newitaya.com/</a>	<a href="http://www.excelinn-oyama.com/">http://www.excelinn-oyama.com/</a>
研修会会場までの交通案内	JR 宇都宮駅から上り東京方面3駅目 約20分	JR 小山駅から下り宇都宮方面2駅目 約10分
	<p style="text-align: center;">自治医大駅から会場まで徒歩約10分</p>	

## 【 宿泊予約方法 】

直接ホテルにお申込みください。

優待料金については「地域社会振興財団の研修会に参加」とお伝えください。

なお、キャンセル・変更等も直接ホテルまでご連絡をお願いします。

# 現地研修会のご案内

当財団の研修事業は、今回ご案内申し上げました中央研修会の他に「現地研修会」と称し、地域住民の方々をはじめ保健・医療・福祉事業等に携わる方々を対象として昭和58年（1983年）から全国各地で開催しております。

この研修会は、「健やかな長寿社会づくり」に寄与するため、都道府県市区町村等の保健・医療・福祉関係機関及び当該推薦機関で研修会を企画していただき、開催に係る経費等の助成を行っています。

要件は下記のとおりですが、詳細に関してはホームページをご覧ください。お気軽に当財団事務局研修課までお問い合わせください。

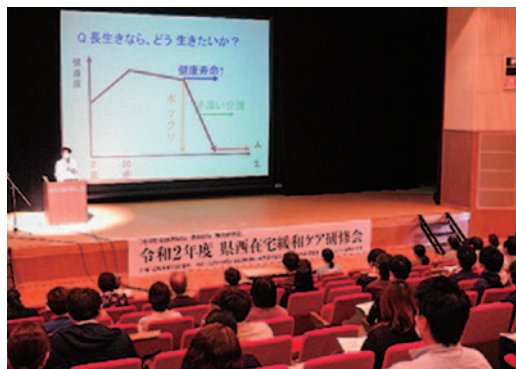
## 応募要件

地域社会における保健・医療・福祉に関連するテーマの研修会が応募対象となります。具体的には、次の内容をテーマとした研修です。

- ★ 「住民のための生活習慣病対策」をテーマにした研修
- ★ 地域住民の方々が教育講演等を通じて、自らの健康への関心を高めるための研修
- ★ 地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々に、それぞれの事業活動を推進するにあたって必要となる技術及び情報の提供を行い、関係機関の連携を深めるための研修
- ★ 地域医療に携わる医師、保健師、看護師及び医療技術者など地域医療従事者の方々に、最新の医学知識や技術の提供ができる研修

## 応募対象機関

都道府県・市区町村等の保健・医療・福祉関係機関及び当該推薦機関





# 会場への交通のご案内

## 1 東京方面から

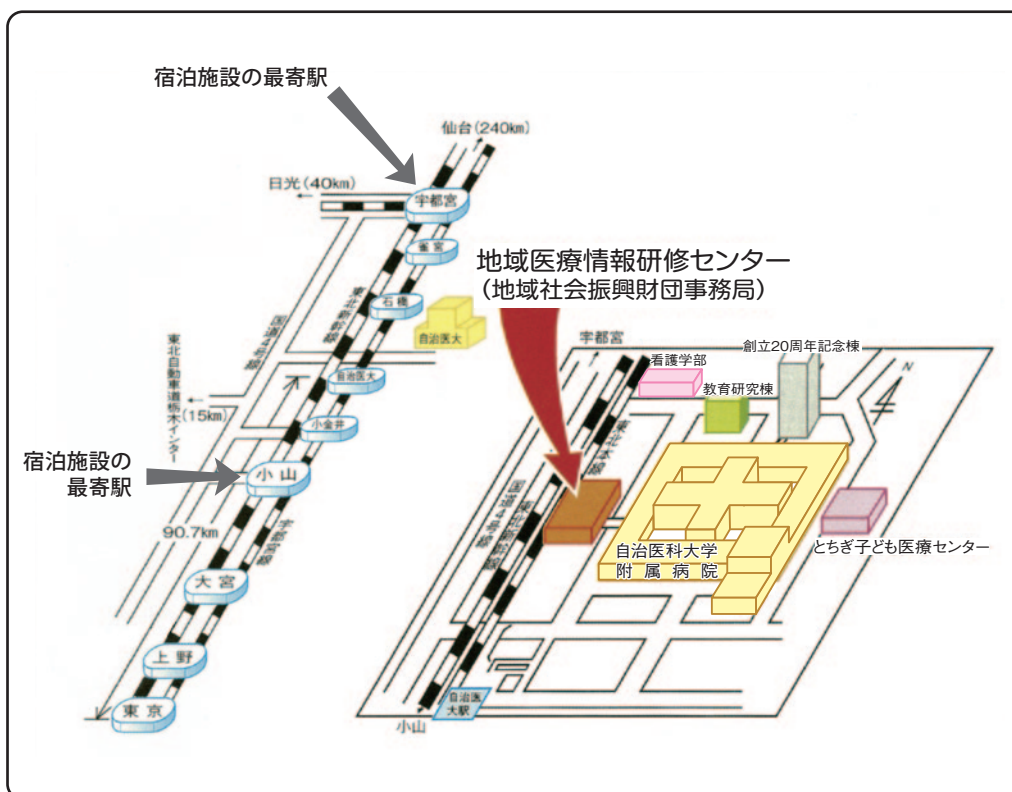
- (1) 宇都宮線（東北本線）  
東京から宇都宮行で自治医大駅東口下車
- (2) 湘南新宿ライン  
新宿から宇都宮行で自治医大駅東口下車
- (3) 東北新幹線  
東京・上野から「やまびこ」・「なすの」仙台方面行  
小山駅で下車し、宇都宮線  
宇都宮行乗り換え（10分）自治医大駅東口下車  
※「やまびこ」は、小山駅に停車しない列車もありますので、  
よくご確認ください。

## 2 仙台方面から

東北新幹線  
宇都宮駅で下車し、宇都宮線・湘南新宿ライン  
普通電車 上野・新宿方面行に乗り換え（20分）  
自治医大駅東口下車

## 3 自治医大駅から

徒歩約10分



## 連絡先

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160  
公益財団法人 地域社会振興財団 事務局研修課

T E L 0285-58-7436

F A X 0285-44-7839

E-mail [fdc@jichi.ac.jp](mailto:fdc@jichi.ac.jp)